



2019年12月2日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治  
(コード番号：4584 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄  
経 営 管 理 本 部 長  
(TEL. 03-6222-9547)

## 癸巳化成株式会社とのアフリベルセプトバイオシミラーにかかる 共同開発契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、癸巳化成株式会社（以下、「癸巳化成」といいます。）とのアフリベルセプトバイオシミラー（以下、「本バイオシミラー」といいます。）に関する事業化を目的とした共同開発契約（以下、「本契約」といいます。）を本日付で締結することにつき、決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本契約締結の目的及び理由

当社は、2018年度より新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様のみならずそのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬開発にとどまらず先進的な医療の開発・提供に取り組んでおります。一方で、将来の成長事業を拡充しつつも、さらなる経営の安定性を確保するためバイオシミラー事業についても鋭意推進しております。本契約は、本バイオシミラーの事業化をとおして将来の新たな収益源を確保し、盤石な財務基盤を整え、眼科疾患領域等における医薬品市場のシェア獲得を目指すものであります。

アフリベルセプト（商品名：アイリーア）は、国内において加齢黄斑変性治療薬として販売されており、その市場規模は約600億円とされております。本バイオシミラーは、2013年5月14日付「扶桑薬品工業株式会社とのバイオ医薬品高産生細胞株の樹立を目的とした共同研究契約締結の件」により、扶桑薬品工業株式会社（以下、「扶桑薬品」といいます。）と当社の共同研究によって構築した高産生の細胞株であり、高産生故の製造コストの低減によって将来的な競争優位性を確保しているものと考えております。

一方、癸巳化成は、これまで食用色素・化粧品用色素・医薬品及び医薬部外品用色素・臨床試験薬等の製造及び販売にて培ってきた技術・ノウハウを保有し、高い実績を上げております。同社は、これら

を活かしバイオ医薬品の原薬開発・製造の事業を展開しており、本バイオシミラーの原薬製造体制を築ける最適な提携先と考えております。

今後、両社協働の下、本バイオシミラーの高産生株を用いて原薬の製造プロセスを確立してまいります。また並行して、この原薬を基に製剤開発、非臨床試験、臨床試験、製造販売承認取得、販売等で必要となる第三者提携先を探索し、本バイオシミラーの事業化に向けた共同事業化体制の構築を目指してまいります。

当社は、本バイオシミラーをバイオシミラー事業の新たなパイプラインとして加え、さらなる経営基盤の強化を進めると共に、この基盤の下、当社の企業価値向上を加速させるべく再生医療事業及びバイオ新薬事業を推進し、GTS3.0の早期実現を目指してまいります。

## 2. 本契約の内容

当社が扶桑薬品と共同開発したアフリベルセプトバイオシミラー産生細胞株を用いて本バイオシミラーの事業化に向けた一連の開発にかかる共同開発契約

## 3. 本契約の相手先の概要（2019年3月31日現在）

(1) 名称	癸巳化成株式会社	
(2) 代表者	代表取締役 加瀬 大明 代表取締役 前澤 大介	
(3) 設立年	1953年5月	
(4) 所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1丁目10番8号	
(5) 事業内容	食用色素・化粧品用色素・医薬品及び医薬部外品用色素・臨床試験薬・その他酸性染料の製造及び販売 バイオ医薬品の開発、製造及び販売	
(6) 資本金	40,000千円	
(7) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

## 4. 今後の見通し

本件に伴う2020年3月期の業績への影響は軽微の見通しです。

以 上